



## はなび つく 花火はどうやって作るの

### はなび しゅるい 花火には、いろいろな種類がある

はなび う あ はなび し はなび はなび う あ はなび  
花火には、打ち上げ花火、仕かけ花火、それに、おもちゃの花火があります。打ち上げ花火にも、割物とポカ玉（つりもの）があります。

わりもの ばくはつ ちから つよ かやく つか だま わりもの くら かやく りょう  
割物は、爆発する力が強い火薬をたくさん使います。ポカ玉は割物に比べて、火薬の量が少なくてすみます。

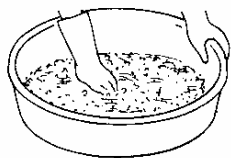
### う あ はなび わりもの つく かた 打ち上げ花火（割物）の作り方

はなび しゅるい う あ はなび わりもの つく かた  
花火には、いろいろな種類があるので、ここでは、打ち上げ花火の、割物の作り方について説明します。

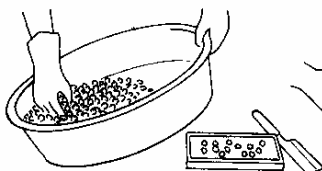
はじめに、花火の中に入れる、いろいろな火薬を混ぜ合わせます。花火の色によって、混ぜ合わせる火薬が変わります。次に、火薬のまわりに入れる、星というものを作ります。これが美しい色を出します。

それから、花火を包む、半球の玉の皮を二つ作ります。そして、それぞれに火薬と、星を入れます。玉の皮は、新聞紙などで作った皮の上に、和紙やクラフト紙のようなじょうぶな紙を、何回も厚くはり合わせて作ります。半球の玉の皮の一方に、導火線（火をつけるもの）をつけ、残りの半球と合わせて、つぎ目をはり合わせます。

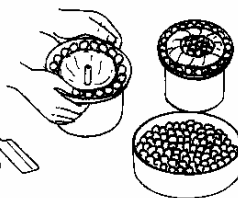
打ち上げ花火（割物）は、このようにして作られます。花火を打ち上げるときは、つつの中にいれて打ち上げます。（監修・青木 国夫）



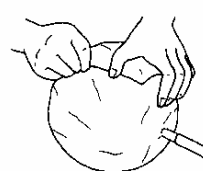
火薬を混ぜ合わせる



星を作る



星や火薬をつめる



玉の皮をはり合わせる

